

八坂福祉だより

——編集・発行——

八坂地区社会福祉協議会

会長 河端 美知子

八坂地区の人口 (R6. 8. 1 現在)

- 人口 4,809人
(男 2,181人・女 2,628人)
- 65歳以上の高齢者 1,573人
(男 604人・女 969人)
- 高齢化率 32.0%
- 世帯数 3,121世帯

～松山市民生児童委員協議会 障がい者福祉部会研修会～ 『補助犬への理解について』

講師：一般社団法人 Dog for Life Japan
代表理事 砂田 眞希 氏

補助犬とは・・・補助犬は盲導犬・介助犬・聴導犬の総称です。

盲導犬

目の不自由な人の安全な歩行をサポート
(胴に白・または黄色のハーネス着用)



介助犬

体が不自由な人の日常生活をサポート
(介助犬の表示の入った胴着着用)



聴導犬

耳が不自由な人の必要な生活音をサポート
(聴導犬の表示の入った胴着着用)



補助犬とは、目や耳や手足が不自由な人のからだの一部であり、ペットではありません。「身体障害者補助犬法」に基づいて認定された犬で、特別な訓練を受けています。また、ユーザーは補助犬の衛生・行動管理をしっかり行っているため、社会のマナーを守り清潔にしています。だから公共施設や交通機関をはじめ、飲食店やスーパー、ホテルなどのいろいろな場所に同伴します。

補助犬を見かけたときは、「優しい無視」をし、温かく見守ることが大事であり、食べ物を与えたり、気を引く行為は避けましょう。

もしも補助犬を同伴している人が、困っているのかな・・・？という様子をみかけたら、「何かお手伝いしましょうか？」などの声掛けや筆談でコミュニケーションをとってください。

研修の後半には、実際に訓練中の犬のデモンストレーションがありました。車イスを使用している人が落としてしまったカード・・・床に落ちたカードはなかなか咥えづらそうでしたが、成功した時には思わず拍手が起きました。

補助犬と共に生活をしている障がい者の方は、「この仔と一緒にいれば大丈夫」という安心感がうまれて行動範囲が広がったり、毎日補助犬の世話をすることで知らないうちに体力や自信がついたり、一緒にいることで心の安定にもつながっているそうです。

この研修に参加して、補助犬はからだの不自由な人の自立と社会参加をたすけているすばらしいパートナーだということを改めて感じました。

日本で活動している実働頭数

盲導犬 796 (12) 介助犬 59 (1) 聴導犬 53 (3)

() 内は愛媛県の実働頭数・令和6年4月1日現在

一般社団法人 Dog for Life Japan

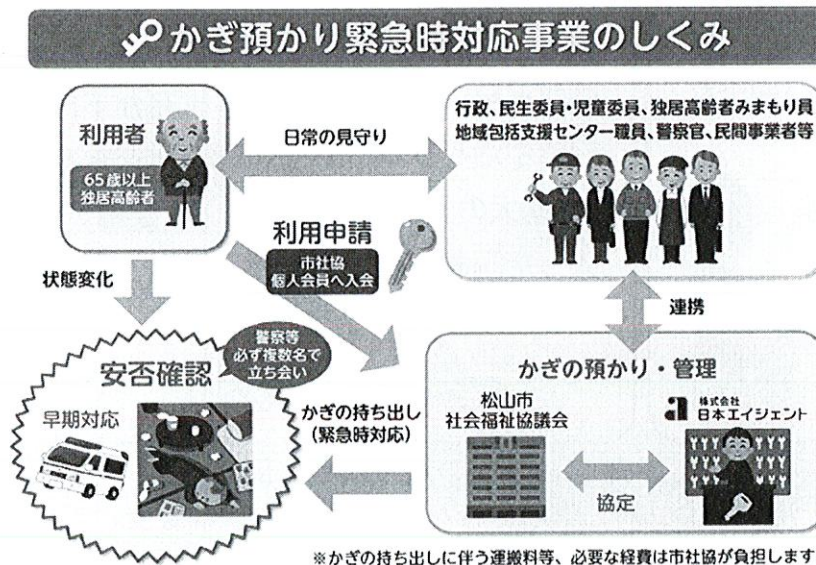
<https://dogforilife.org>



かぎ預かり SOS

【サービス内容】

この事業は、ご自宅の「かぎ」をあらかじめお預かりし、高齢者に対する日常のみまもり活動と連動したかたちで、様子がおかしいと思われる時に、緊急連絡先や民生委員等へ状況を確認したうえで、複数名立会いのもと、お預かりしている鍵を使って家屋内に入り、ガラス等を割ることなく安否確認を行うという仕組みです。



お申し込み方法

1. 松山市社会福祉協議会 総務調整課(TEL941-4122)までお問い合わせください。
2. お申し込みには市社協個人会員への入会(1口 1,000円)、利用申請書等の手続きが必要です。
3. ご自宅を訪問し、契約事項に同意し契約します。
4. 緊急時(以下を参照)、お預かりしているかぎを市社協または、提携業者がご自宅まで運搬し、警察等複数名立会いのもと、開錠し安否確認を行います。

お預かりした鍵を使って家屋内に入る必要があると判断する目安

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| ①愛の一声訪問事業利用にあたり取り込みができていない | ⑥通常聞こえる生活音(テレビ・洗濯機・掃除機など)が聞こえない |
| ②新聞や郵便物がポストにたまっている | ⑦福祉サービス利用時(ヘルパー・配食サービスなど)に応答がない |
| ③洗濯物が何日も干しっぱなしになっている | ⑧異臭がする |
| ④部屋の明かりが昼間も点いている・夜になっても点かない | ⑨遠方に住む親族から緊急の安否確認の要請があったとき |
| ⑤夜通しテレビの音が聞こえているが居宅者の声や姿を見かけない | |

お問合せ先 社会福祉法人 松山市社会福祉協議会 総務部総務調整課
TEL 089-941-4122 Mail info@matsuyama-wel.jp